

ひも付け結果の反映による地図関係業務への影響について

ひも付け事業による、農業委員会サポートシステム上の紐づけ地図の反映は、反映前からの差分だけでなく、全筆洗い替え取込となります。

前回の紐づけ地図の反映以降になされた分合筆等のポリゴン（境界情報、ピン）が追加される一方で、以前のポリゴンは削除されたり、形状が変更されることとなります。

このため、ひも付け事業に用いる地図データと農地台帳情報の更新時点の関係により、一部の筆で紐づけ地図が利用できなくなる等の影響が生じる可能性があります。

以下に、標記の影響内容と対応について記載しますので、事務連絡の4(2)に記載の紐づけ地図の反映の要否の判断材料としてください。

なお、紐づけ地図の反映による、農地地図（農地区画、農地ピン）、区分地図（区分地図（区画、ピン））、筆ポリゴンへの影響はありません。

●目標地図への影響

作成済みの目標地図自体は影響を受けませんが、地域計画のブラッシュアップに伴い目標地図を更新する場合は、新たに追加されたポリゴンを改めて目標地図の対象地として選択し直す必要があります。

この時、「エリア内選択」で選択すると、重複して対象地として登録される場合がありますので、個別に対象地を選択し直すことを推奨します。

●スタイル設定への影響

【スタイル設定（紐づけ地図）】－【個別設定】で個々の筆に設定した「色分け設定」は保持されませんので、再設定が必要です。

●ポリゴン編集内容への影響

紐づけ地図レイヤのポリゴンに対し、手作業で分筆・合筆等を行った編集内容は保持されません。編集作業を行っている場合は、紐づけ地図の反映により該当のポリゴンが削除される可能性があるため、紐づけ地図の反映前に「区分地図」に複製することを推奨します。

●eMAFF 農地ナビへの公開設定について

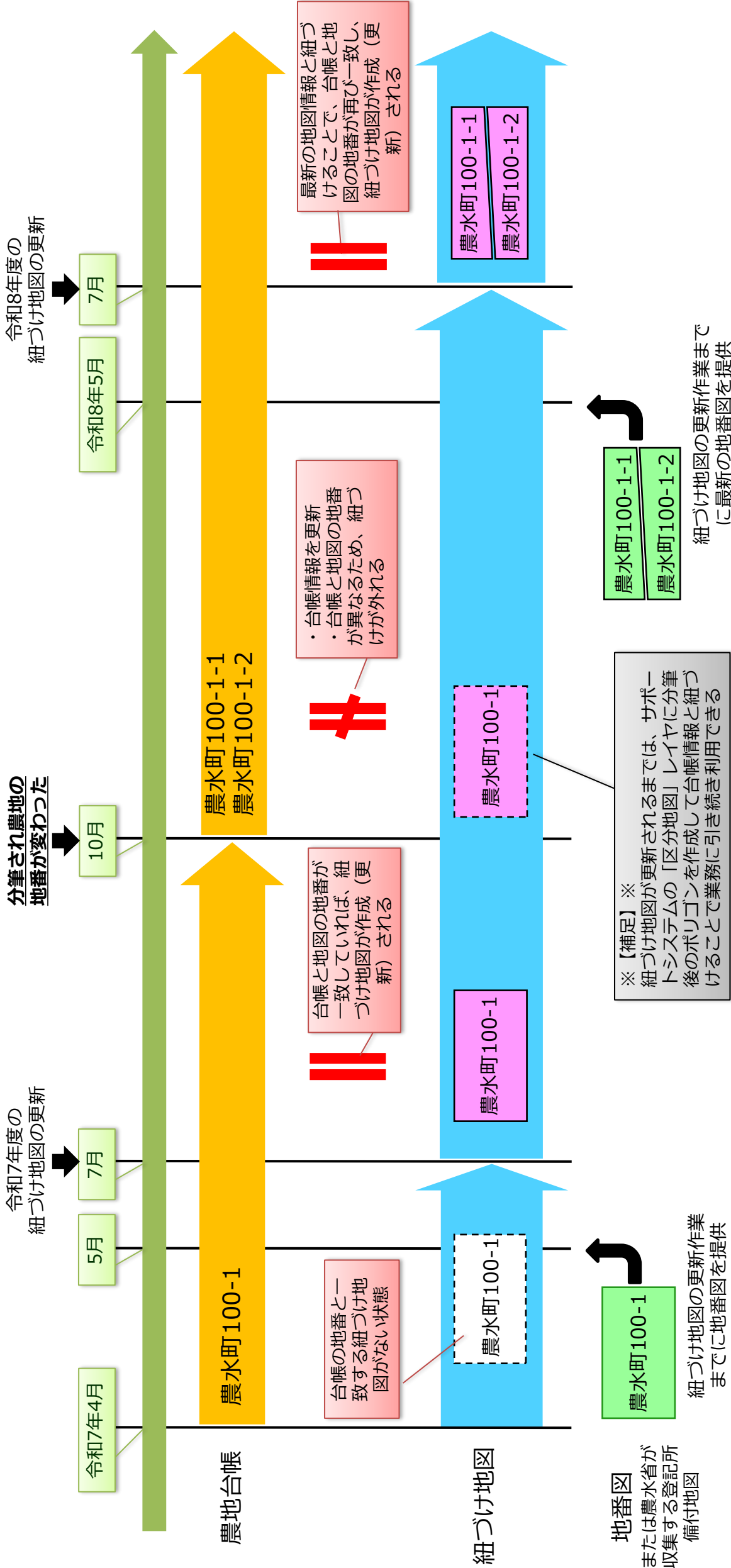
主題図を紐づけ地図に設定している場合、eMAFF 農地ナビに公開している地図情報も紐づけ地図（ポリゴンを公開しない場合は紐づけ地図のピン情報）となります。

【補助機能】－【公開/連携承認設定】で「公開を自動で承認する」と設定している場合は、紐づけ地図が更新されるまでは、「公開の自動承認を停止する」に切り替えておき、ひも付け結果を確認した上で改めて「公開を自動で承認する」に切り替えることを推奨します。

自動承認していない場合は、ひも付け結果を確認した上で「公開を承認する」を押して eMAFF 農地ナビの公開情報を更新してください。

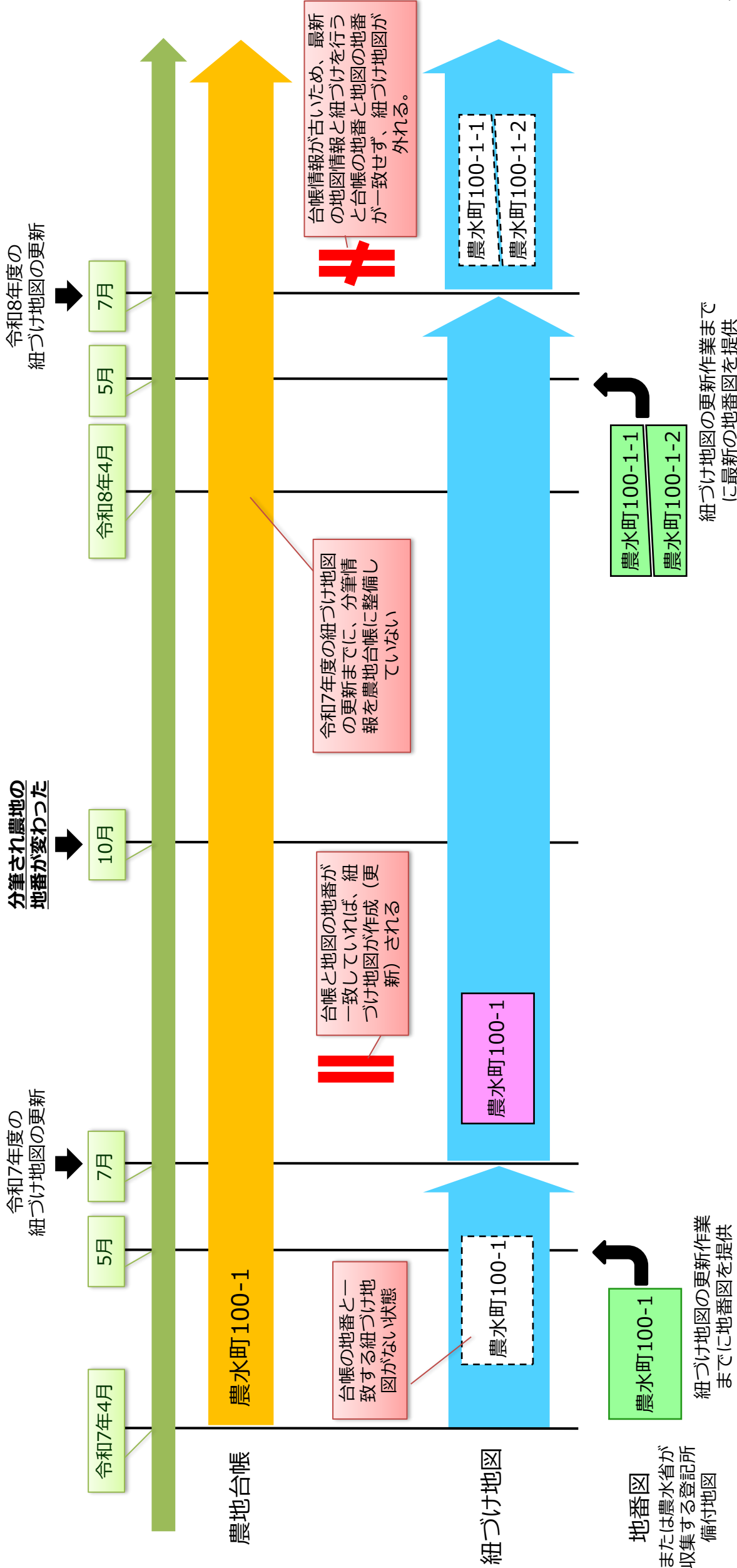
台帳情報の更新と紐づけ地図の更新のイメージ(1/3)

台帳情報（地番情報）を適宜最新の情報に更新した場合、紐づけ地図も同様に更新するまでは、台帳と紐づけ地図との紐づけが外れてしまいます。紐づけ地図を台帳情報を同様に更新することにより、再び台帳と地図が紐づけられます。



台帳情報の更新と紐づけ地図の更新のイメージ（紐づけ地図の更新時に台帳情報が古い場合）（2/3）

台帳情報（地番情報）が古いために、紐づけ地図の更新により紐づけ地図が外れる（作成されなくなる）ケースの例です。



台帳情報の更新と紐づけ地図の更新のイメージ（紐づけに用いる地図の情報が古い場合）（3/3）

台帳情報（地番情報）を最新の状態にしている、紐づけ地図の更新に用いる地図データが古い場合、紐づけが外れるケースがあります。

